

平成 2 4 年度 湛水防除事業 再評価調書

事業名	湛水防除事業	地区・路線名 ふ り が な	勝占地区 かつら
事業主体	徳島県	関係市町村	徳島市
事業概要	(事業目的) 本地区は、徳島市の南部に位置する園瀬川下流右岸側に開ける低平水田地帯である。本地区内では近年、宅地化の進行や既設排水施設の老朽化等に伴い排水状況が悪化し、大雨時には湛水被害を余儀なくされている状況である。 このため、本事業により排水路の改修を行うとともに、併せて関連事業である勝占 2 期地区において老朽化した排水機場の改修を行うことにより、本地域の湛水被害の低減及び農業経営の安定を図ることを目的としている。 (事業内容) 受益面積 93.7ha 受益戸数 240戸 主要工事 排水路工 550m 総事業費 1,181,500千円 (国50%、県35%、市15%、地元農家0%) 工 期 平成10年度～平成27年度		
	(事業の進捗状況) 平成23年度までに排水路工231mを実施している。 平成24年度末の事業費進捗率は82%である。		
評価	(関連事業の進捗状況) ・ 湛水防除事業 勝占 2 期地区 (H13～H20) 排水機場 1 箇所 (φ 1,500m/m*2台、φ 600m/m*1台、計画排水量8.16m³ /s) 平成20年度 事業完了		
	(社会経済情勢の変化) 計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化がなく、また、降雨量、他の要因による排水状況の改善も見られないことから、引き続き本事業による排水条件の改善が必要である。		
項目	(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 特になし。		
	(事業効果の発現状況) 湛水防除事業 勝占 2 期地区が平成 2 0 年度に事業完了し、排水路末端にある排水機場が完成したことにより、大雨時には湛水被害の軽減が図られている。 今後、本事業の実施に伴い排水施設の整備が推進されれば、地域の湛水被害が解消されるとともに農業被害が防止され、安定した農業経営が可能となる。 投資効率＝総事業効果額／総事業費＝ 1. 3 4		
目	(受益農家、関係機関の意向) 安定した営農の確立及び湛水被害解消のため、地元受益者や徳島市からは、事業の早期効果の発現を要望されている。		
	(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。		